

## 2 - 1 重点事業評価

事業名

多様なニーズに対応できる情報サービスの充実

### (1) 事業の概要

#### ● 対象

子どもから高齢者・研究者まで、すべての年代の県民と本県に関心のある全国の人たち。

#### ● 意図・目的

子どもから子育て世代、高齢者まで、幅広い年代向けの資料を収集するとともに、新潟県に関する郷土資料及び研究者のニーズに応える専門書の充実を図ることにより、更なる利用の促進を図る。

#### ● 具体的取組の概要

- ①暮らしと仕事に役立つ各コーナー（くらしガーデン、家庭と子どもの本、こども図書室、第2のオフィス、文芸、ユースなど）について、配架の工夫やコーナーのリニューアルによって、利用環境を整備する。また、ルネサンス事業として講演会や講座などを開催するとともに、これらの講座や県の施策と連動した各種展示等を行うことにより、県民の生涯学習や課題解決を支援する。
- ②県民の多様かつ高度・専門化する調査研究活動を支援するため、専門書・研究書の整備に努めるとともに、パスファインダーの作成、更新などによる調査相談機能の更なる充実を図る。また、各種テーマによる資料展示を行うとともに関連資料リストを作成、配布するなど、図書館からの情報発信に積極的に取り組む。
- ③新潟県に関する郷土資料の収集保存と提供について、網羅的収集により蔵書冊数を増加させるとともに、郷土人物・郷土作家コーナーなどの活用により更なる利用の促進を図る。また、郷土資料の利用促進のため、郷土人物・雑誌記事索引等の当館独自データベースの充実に取り組む。

### (2) 指標① 達成目標：3年後に30万冊（各年度1万冊ずつ増加）

| 項目（指標）          | 達成目標（数値） |      |      | 実績                 |
|-----------------|----------|------|------|--------------------|
|                 | H30      | R1   | R2   |                    |
| 各コーナーの図書の合計貸出冊数 | H30      | R1   | R2   | H30                |
|                 | 28万冊     | 29万冊 | 30万冊 | 281,282冊<br>(100%) |

（平成29年度実績：273,613冊）

### 指標② 達成目標：3年後に180件以上

| 項目（指標）  | 達成目標（数値） |        |        | 実績             |
|---|----------|--------|--------|----------------|
|   | H30      | R1     | R2     |                |
| 情報資源の有効活用のためのパスファインダー、イベント関連資料リスト、PRチラシ等作成件数とギャラリー展示、館内のテーマ展示等の件数 | H30      | R1     | R2     | H30            |
|   | 160件以上   | 170件以上 | 180件以上 | 194件<br>(121%) |

（平成29年度実績：年間154件）

### (3) 事業評価（自己評価）

|      |   |   |
|------|---|---|
| 自己評価 | A | 情報資源有効活用のためのパスファインダー、イベント関連資料リスト、展示等の件数については、目標数値を大きく上回った。各コーナーの図書の合計貸出冊数も、目標数値を達成した。 |
|------|---|---|

AA 目標が十分に達成された。 A 目標が達成された。  
 B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。  
 ※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

| 項目  | 項目の解説                          | 状況  |
|-----|--------------------------------|---|
| 必要性 | 利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。    | 県民の多様なニーズに corres えるため、各コーナーの資料の充実と、情報資源の有効活用を促すツール作成等の件数を指標として設定したことは、妥当であると考えられる。   |
| 有効性 | 期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。 | 各コーナーの配架の工夫やリニューアルと、テーマ展示等の情報発信に積極的に取り組み、利用の促進につなげた。                                  |
| 効率性 | 事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。 | 長期休館中におけるくらしガーデンのリニューアルなど、館内の利用環境を整備する一方で、資料の利用促進につながる資料展示やツールの作成等を通じて、目標達成に向けて取り組んだ。 |

(4) 次年度の展開

|   |
|---|
| 方向性・問題点・改善点など   |
| <p>県民の課題解決に資する図書館を目指し、引き続き利用者のニーズに合った資料を収集し、テーマ展示や資料リストの作成のほか、魅力的な書架づくりに努め、図書館が所蔵する図書・雑誌などの情報資源の一層の利用促進に取り組む。</p> |

(5) 図書館協議会意見

|   |
|---|
| <p>館内の資料展示（閲覧室展示コーナー）は、いずれも工夫されており、入館者が興味深そうに見入っている様子が見られるなど、高く評価される。委員からは「高校生を対象とした「POPコンテスト」関連の展示は、同年代の入館者の増加にもつながるのではないかと、ぜひ続けてほしい」という要望や、「各コーナーの図書を紹介するような講座を開催してはどうか」という提案が出されている。引き続き、利用者が様々な図書に関心を高めるような演出が期待される。</p> <p>委員からは下記のような提案が出されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々が様々な物や情報を交換する場、多くの人々が集まるイベントの場、としての役割を果たすことを検討してはどうか</li> <li>・新しいサービスのアイデアを一般公募することがあってもよいのではないかと</li> </ul> |
|---|